

札幌市の下水道の現状と課題

1 施設の老朽化

老朽化する施設が増加する状況においても、下水道機能を維持するため、引き続き、適切な維持管理に努めながら、増加する改築事業に対応することや処理施設の土木・建築構造物の計画的な再構築を実施することが求められます。

2 自然災害の脅威

計画的な雨水拡充管の整備や窪地などに対する被害軽減の対策に加え、集中豪雨における市民の備えを支援するための情報提供などハードとソフトを組み合わせた浸水対策をすることにより、市民生活を守り、都市機能を確保することが求められます。

また、施設の耐震化を引き続き進めることや下水道BCPの継続的な見直し、北海道胆振東部地震の被害を考慮した必要な対策を実施することにより、地震に強い下水道を構築していくことが求められます。

3 公共用水域の水質保全

水質環境基準の達成・維持に寄与するための対策や雨天時の放流水質の基準を遵守するための合流式下水道の改善を継続して行うことにより、良好な水環境を保全することが求められます。

4 低炭素・循環型社会への貢献

改築に合わせた省エネルギー設備の導入や下水道エネルギー・資源の有効利用の推進により、低炭素・循環型社会の構築に貢献していくことが求められます。

5 厳しさを増す財政状況

厳しさを増す財政状況においても良好な下水道サービスを提供し続けるため、下水道施設の計画的かつ効率的な管理によるトータルコストの縮減や、国の交付金や下水道資産の最大限の活用による財源の確保など、財務体質を強化することが求められます。その上で、適正な受益者負担についても具体的な検討が求められます。

6 運営体制の懸念

経験豊富な職員の減少や老朽化対策に伴う事業量の増加に対応するため、組織合理化の視点も踏まえながら技術力の維持・向上に努め組織の運営体制を強化するとともに、事業の責任を負う札幌市を主体とし、公的機関や民間企業と連携した運営体制のさらなる強化を図ることが求められます。また、札幌市の圏域全体の下水道事業の持続を意識し、引き続き関係自治体との連携に努めることも求められます。

7 市民理解の促進

事業量が増加していく状況においても、安定した事業を運営していくためには、市民に下水道事業の重要性を理解してもらうことが必要であり、世代や性別などに応じ、効果的な広報を進めていくことにより、市民の下水道に対する意識や関心を高めることが求められます。

基本方針

札幌をささえる下水道を次世代へつなぎます

基本目標Ⅰ

安全で快適なくらしを守ります

10年間の方向性

下水道機能の維持

下水道施設の維持管理

安全で快適な市民生活と社会活動を支えている下水道施設の機能を維持するため、札幌市下水道改築基本方針及び札幌市下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検や調査、修繕など適切な維持管理に努めます。

重点 下水道施設の再構築

●札幌市下水道改築基本方針及び札幌市下水道ストックマネジメント計画に基づき、適切な維持管理を行うとともに、改築の必要性や時期を総合的に判断しながら計画的に改築を進めます。
●今後、本格的な改築時期を迎える処理施設の土木・建築構造物の再構築は難易度が高く、大規模かつ長期に渡る事業となるため、具体的な再構築計画を策定し、再構築事業を進めます。

災害に強い下水道の構築

重点 雨水対策

●大雨時の浸水被害を軽減するため、雨水拡充管の整備や雨水流出抑制の取組、窪地など雨水が集まりやすい場所における対策を進めるとともに、市民の備えを支援するための取組を行い、ハード対策とソフト対策を組み合わせた雨水対策を進めます。

重点 地震対策

●地震時の下水道の機能を確保するため、施設の重要度を踏まえて計画的に耐震化を進めるとともに、下水道BCPの見直しの継続や災害対応訓練の取組を進め、ハード対策とソフト対策を組み合わせた地震対策を進めます。

良好な水環境の保全

処理の高度化の推進

●河川の水質環境基準における水質環境基準を達成・維持するため、水再生プラザにおける下水の処理方法の高度化や運転管理の工夫を進めます。

合流式下水道の改善

●合流式下水道における雨天時の放流水質の基準を遵守するため、改善が必要な処理区で下水道から排出される汚濁負荷量の削減を進めます。

下水道エネルギー・資源の有効利用

下水道エネルギーの有効利用

●低炭素・循環型社会へ貢献するため、下水やその処理水の持つエネルギーを利用した設備の導入を進めるとともに、省エネルギー設備への更新などを行うことにより、エネルギー使用量の削減に努めます。

下水道資源の有効利用

●下水道資源の有効利用を継続するとともに、下水汚泥の新たな有効利用技術についても検討します。

基本目標Ⅱ

健全な経営を持続します

10年間の方向性

財務体質の強化

コストの縮減

●厳しさを増す財政状況においても次世代にわたり良好な下水道サービスを提供していくため、下水道施設の計画的な管理や維持管理方法の効率化を進め、コストの縮減を図ります。

重点 財源の確保

●コスト縮減の取組と合わせ、事業に必要な財源の確保に努め、次世代にわたり持続可能な経営を目指します。

運営体制の強化

技術力の維持・向上

●経験豊富な職員の減少により懸念される組織の技術力低下を防ぎ、さらにはより一層の向上を図るため、事業を担う人材の育成を図ります。

重点 官民連携の強化

●増加する事業に対応するため、札幌市、公的な立場で自治体を補完する公的機関、民間企業による官民連携の体制を更に強化します。また、さっぽろ圏域での連携に努め、引き続き、関係自治体の下水道事業の着実な運営に寄与します

基本目標Ⅲ

幅広い世代への理解を促進します

10年間の方向性

下水道の見える化

下水道科学館への来館促進

●下水道に対する理解を深めてもらうため、リニューアルした下水道科学館を積極的に活用し、下水道の役割や重要性を楽しみながら学んでもらう機会を提供します。

重点 効果的な情報発信

●普段目にする機会の少ない下水道を身近に感じてもらうため、広報イベントの充実を図り、効果的に下水道に対する関心を高めてもらえる取組を進めます。